



都市再生の推進に係る有識者ボード  
MICE施設機能向上WG

# 横浜MICEの取組

～国・市・民間施設の三位一体の機能強化～

平成24年12月21日

横浜市

文化観光局

中山 こそゑ

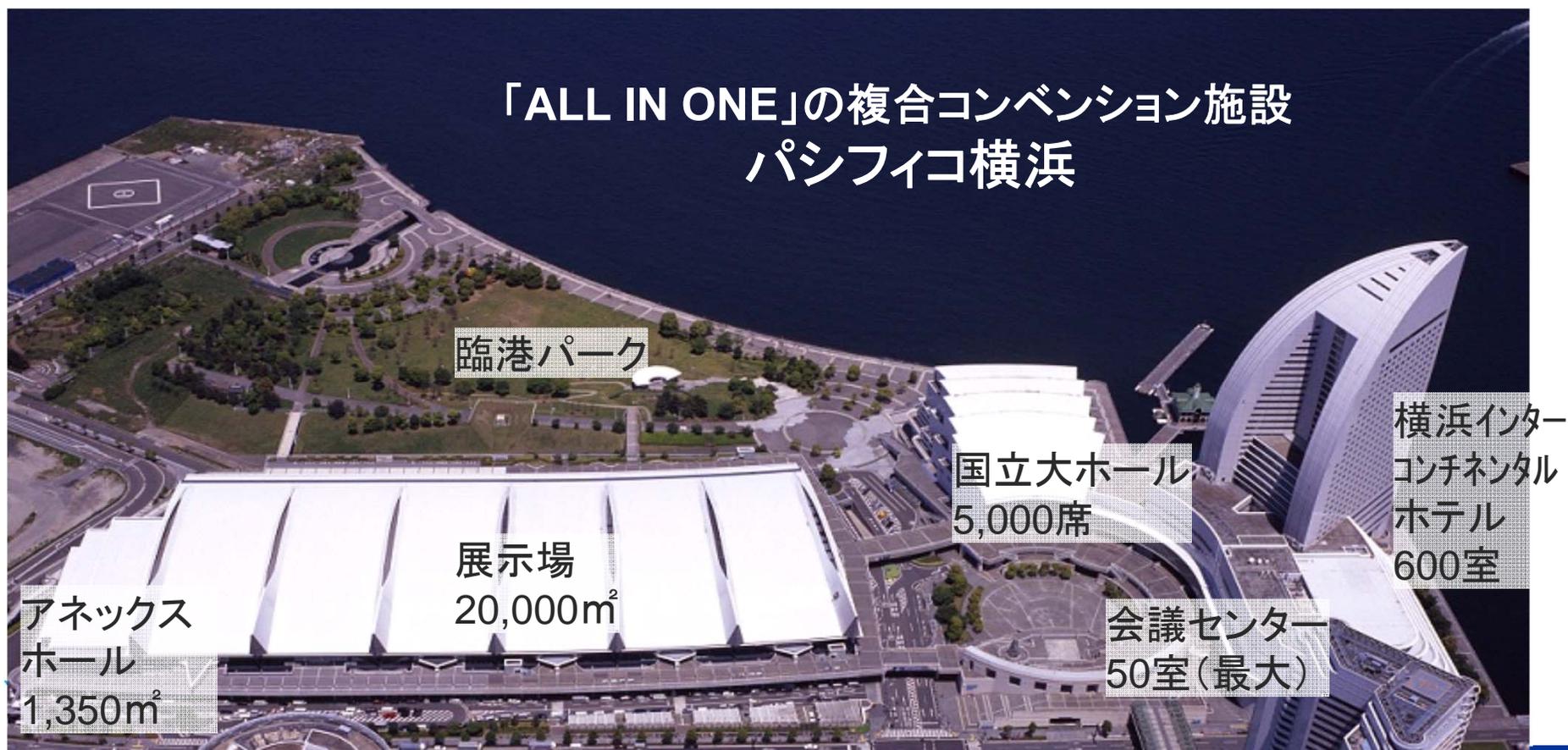
# 目次

- 1 横浜MICE; 戦略的位置づけ
- 2 横浜MICE; 実績
- 3 横浜MICE; SWOT分析
- 4 横浜MICE; 中心拠点
  - ①パシフィコ横浜とは
  - ②事業規模について
  - ③パシフィコ横浜のSWOT分析
- 5 今後の横浜MICE戦略
- 6 MICE施策に対する3つの提案

# 1 横浜MICE; 戦略的位置づけ

目標: 「国際観光・MICE都市の実現」

パシフィコ横浜 = “横浜MICE中心拠点”



## 2 横浜MICE;実績 ①

### 国際幹細胞学会 (ISSCR) 第10回年次大会

期間: 2012年6月13日~16日

参加者数: 約3,600人(うち海外参加者約2,200人)



万能細胞と呼ばれる人工多能性幹細胞(iPS細胞)を世界で初めて作製した山中伸弥京都大学教授と、横浜市内の高校生39人の交流会が17日、同市西区のパシフィコ横浜で開かれた。iPS細胞に関する質疑応答を行い、山中教授は「これまで思いつかなかったようなiPS細胞の使い方を、若い人に考え出してほしい」とエールを送った。横浜市と市教委主催、市立横浜サイエンスフロンティア高など3校が参加した。16日まで同市内で開かれた国際幹細胞学会第10回年次大会に関連し、高校生が研究者と触

#### iPS細胞使い方考えて



生徒たちの質問に答える山中教授  
=パシフィコ横浜

横浜で 高校生にエール  
山中教授

「交流会では、生徒がiPS細胞の可能性などを質問。『高校生のときは何を目標にしたか』などの質問も飛んだ。山中教授は、皮膚の細胞を心臓の細胞に変える研究など最新の再生医療の現状を説明したほか、実験でも成功より失敗からの方が学ぶことが多い。10代のうちにたくさん失敗してほしい」と話した。  
参加した後河内香里さん(16)は「事前に知っていたことを上回る、最先端の話が聞けた」と喜びいっぱい。宮川健太郎さん(16)も「高校生のうちにスーパーマンになれる」という言葉が印象に残った。いろいろなことに懸命に取り組みたい」と話していた。  
(佐本 真里)

#### ☆横浜と山中教授の関わり☆

2011	日本神経科学大会 特別講演 日本分子生物学会年会 若手教育シンポジウム バイオジャパン2011
2012	日本泌尿器科学会総会 記念講演 日本再生医療学会総会 市民公開講座 バイオジャパン2012 主催者セミナー

※いずれもパシフィコ横浜で開催

← 開催地ならではの取組  
・・・山中教授と市内高校生の交流会

## 2 横浜MICE;実績 ②

### APEC首脳会議

期間： 2010年11月7日～14日

参加者： 約10,600名

経済波及効果： 352～456億円

雇用発生数： 3,400～4,436人



### 第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)

期間： 2008年5月28日～30日

会議参加者： 3,000名以上

アフリカ51カ国(41名の国家元首・首脳級を含む)



## 2 横浜MICEの実績 ③

横浜開催が決定されている主な国際会議

年度	会議名	規模	外国人参加者数	経済波及効果(※) 上段:全国 (下段:横浜市)
2014	第18回国際社会学会世界社会学総会 …社会学系の大型会議	5,000名	3,000名	80億円 (40億円)
2016	ゴールドシュミット国際会議 …地球化学に関する国際会議	5,000名	4,000名	63億円 (33億円)
2016	第31回国際心理学会議 …1万人規模の超大型会議	10,000名	6,000名	138億円 (68億円)
2020	第9回国際矯正歯科会議世界大会 …アジア初の開催	6,000名	2,000名	48億円 (24億円)

(※)JNTO「測定くん」に基づき算出

その他、医学・自然科学系学会を中心に複数の開催決定がある。

### 3 横浜MICEのSWOT分析

#### **O**ppportunity 機会

- ◆羽田空港の再国際化
  - ・海外からのアクセスが向上。
  - ・周辺の産業集積にもメリット。
- ◆国によるMICE推進施策

#### **T**hreat 脅威

- ◆台頭するアジア諸都市
- ◆国を挙げてのMICE推進

#### **S**trong 強み

- ◆パシフィコ横浜の存在
- ◆科学・技術・自然、及び医学の占める割合が多く、強みとなっている。
  - ◆まちぐるみの取組
  - ◆民間事業者との連携

#### **W**eakness 弱み

- ◆パシフィコ横浜の課題
- ◆海外での横浜の知名度は低い

## 4 横浜MICE中心拠点；パシフィコ横浜とは ①

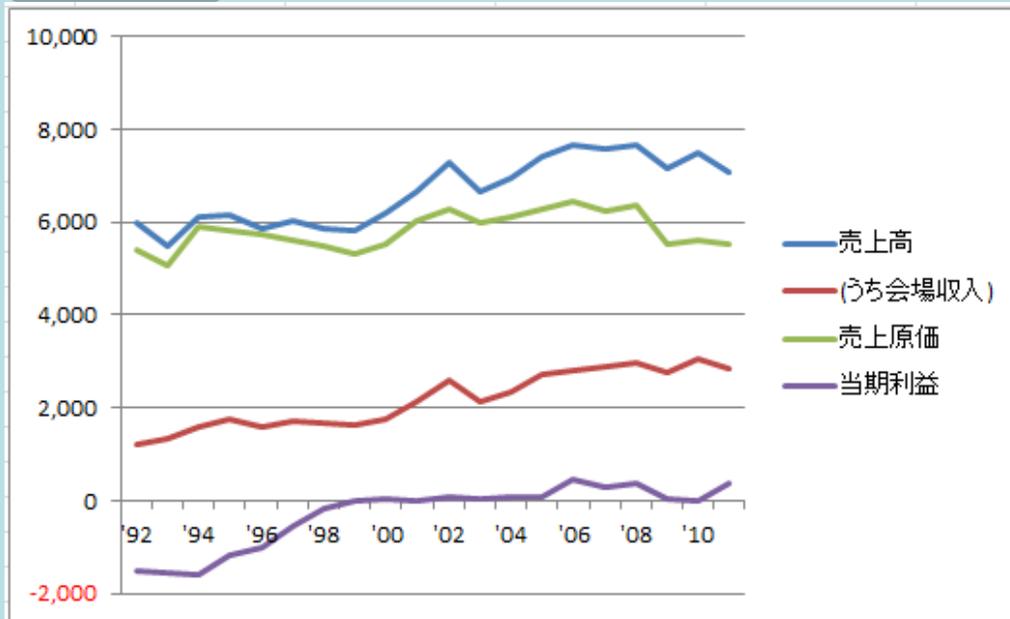
国内唯一、世界でも稀な民設民営方式

	パシフィコ横浜 ～民設民営方式～	国内他施設 ～公設民営方式～
・整備	第三セクター	自治体
・運営	第三セクター	第三セクター等
・建設費	第三セクター(845億円)	自治体負担
・要返済	630億円(借入558億、敷金等72億)	なし
・運営費 ※運営者が 負担する経費	減価償却費 あり 土地代 あり 固定資産税等 あり 大規模改修費 あり	減価償却費 なし 土地代 なし 固定資産税等 なし 大規模改修費 なし

## 4 横浜MICE拠点;パシフィコ横浜とは ②事業規模

### 弛まぬ努力 ～パシフィコ横浜の経営～

損益の推移



### 民設民営方式による成果

#### 【経営努力】

- ・売上増とコスト減
- ・10期連続の単年度黒字を継続

#### 【営業努力】

- ・営業ノウハウの蓄積
- ・国際会議や医学会で業界トップ
- ・APEC、アフリカ開発会議等の実績

### 横浜方式の成果

**公的負担の軽減**

## 4 横浜MICE拠点;パシフィコ横浜とは ②事業規模

借入金の負担が大きい。

### 総事業費

建設費 753億円

(会議C 164億円)

(展示H 203億円)

(ホテル 279億円)

(その他 107億円)

交流施設 32億円

建中利息 60億円

合計 845億円

### 資金調達

資本金 168億円

補助金 15億円

(国10億円 市5億円)

敷金等 72億円

借入金 558億円

施設売却 32億円

合計 845億円

2011年度(開業20年)

借入金残 259億円



今後、施設機能の維持・  
保全に向け大規模改修  
が必要(約180億円)

自社による資金調達で  
実施する予定だが、  
ハードの維持管理コスト大

## 4 横浜MICE中心拠点;パシフィコ横浜とは ③SWOT分析

### Opportunity 機会

- ◆県内に複数の医学部あり
- ◆複合型MICEの増加
- ◆東アジアのMICE市場拡大

### Threat 脅威

- ◆アジア諸国との競争激化
- ◆アジア諸国の相次ぐ施設拡充

### Strong 強み

- ◆会議場・展示場・ホテルから成る複合コンベンション施設  
⇒大型会議と展示会の同時開催可能
- ◆開業20年のMICE運営の経験
- ◆株式会社(民設民営)  
⇒運営の柔軟性・継続性

### Weakness 弱み

- ◆初期投資の借入償還・金利負担が大きい。
- ◆高稼働に伴うビジネスチャンス損失
- ◆大規模改修へ向けた対応

# 4 横浜MICE中心拠点;パシフィコ横浜とは ③SWOT分析

## Weakness

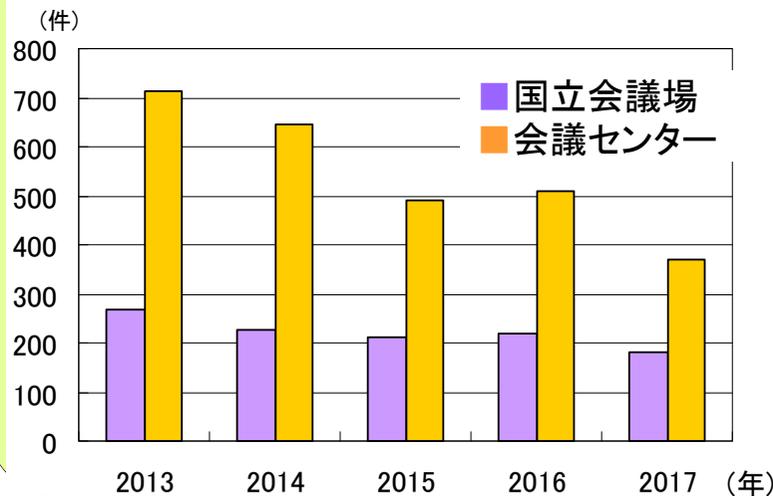
## 弱み

＜高稼働による機会の損失＞

申込件数	開催決定件数
約4000件	約1000件

(2008年度実績)

2010年度 施設平均稼働率



5年先まで予約が入っており、新規催事の受入れが困難。

## 5 今後の横浜MICE戦略 ①

### 【基本方針】

国際的なMICE開催都市のブランドを確立。質を重視へ…

### 【誘致ターゲット】

「中大型国際会議」、「医学会議」

### 【横浜MICEの役割】

フラグシップとして日本を牽引

「人・情報・技術の交流集積」により、  
ビジネス機会やイノベーションを創出

### 【戦略の柱】

ソフト

①誘致、②開催支援、③地域連携

ハード

④施設機能強化(大規模改修、施設機能拡充)、⑤周辺まちづくり

## 5 今後の横浜MICE戦略 ②施設機能強化への対応

### 【基本的考え方】

- ◆アジア諸国との差別化(単なる施設規模、価格面での競争はしない)
- ◆機会損失への対応
- ◆新たな需要への対応
  - ・2000人以上の国際会議に付随するバンケット
  - ・大型医学会の内、参加者5000人以上が見込まれるもの
  - ・リピーターの拡大傾向



### 【ニーズ】

- ◆展示会と会議の同時開催
- ◆大型レセプションへの対応

### 【必要な機能・規模】

- ◆多目的ホール  
(5千人規模の会議、1万㎡の展示、着席2000人規模レセプションに利用)
- ◆大会議室・中小会議室
- ◆荷捌き駐車場(展示ホールの安定的なオペレーション)

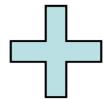
## 5 今後の横浜MICE戦略 ③MICE機能強化による効果

### パシフィコ横浜

用途	スペック
国立大ホール	約5,000席
会議センター	貸床面積 約6,500m <sup>2</sup> (50室)
展示ホール	貸床面積 約20,000m <sup>2</sup>
ホテル	客室600室
駐車場	約1200台

#### 経済波及効果

<国>1929億円 <横浜市>690億円



### MICE施設機能拡充※

多目的ホール	貸床面積 約10,000m <sup>2</sup>
会議室	貸床面積 約6,500m <sup>2</sup>
荷捌き駐車場	約2万m <sup>2</sup> 程度

※出典:横浜市MICE機能強化検討委員会提言書

### MICE機能強化による効果

ALL IN ONEの強化により、  
誘致対象を拡大



開催件数の増加

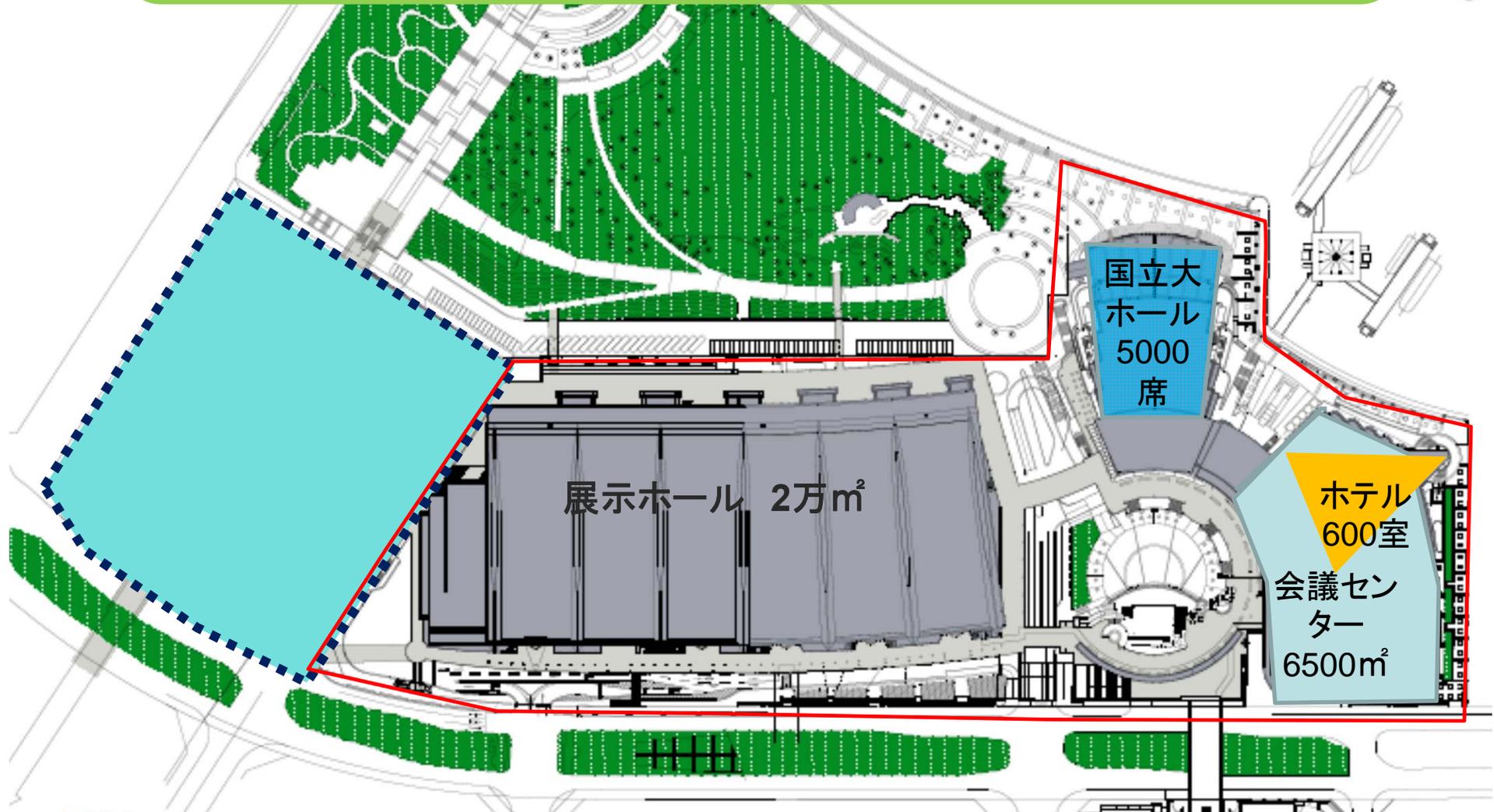


経済波及効果の増大

#### <効果>

- ・ビジネス機会創出効果が高
  - ・経済効果が非常に大
- ↓
- ・我が国の国際競争力の強化、  
経済成長に寄与

# 東アジアにおいて競争力を持つ ALL IN ONE 「複合型MICE施設」へ



## 6 MICE施策に対する3つの提案

### 【①制度】 MICE施設を「産業インフラ」と位置づけ

- ・国全体でMICE推進に取り組む。
- ・「社会インフラ」と同様の位置づけ

### 【②認定】 「戦略的MICE拠点都市」を新設、横浜市を認定

- ・横浜は唯一の都市（3つの特区指定）

### 【③支援】 「戦略的MICE拠点都市」への支援

- ・国・市・民間事業者の三位一体でのMICE機能強化を推進
- ・「用地取得」や「MICE施設整備」、「大規模改修」に係る支援

